

クラスワイド(学年単位)の ポジティブな行動支援 実践研究報告

小学校低学年の学年全員に
くつやスリッパをそろえて
くつばこに入れる行動を教える。

学年の実態

- 自分のことは自分でしようという指導を入学当初から繰り返して行っている。
- その結果、自分のことは自分でするルールは定着しつつある。
- 現時点でくつばこのくつをそろえようとしている児童は少ない。
- くつばこが隣に位置する高学年が整然とそろえて入れていても、それを見ている児童はほとんどいない。

1年団の教員の考え

「児童にとって、他の児童の行動を手がかりにしやすく、くつがそろっているのを見ることで、気持ちよさを感じることができる」

「1年生に、かもっこスマイルプロジェクトの取組に興味を持ってもらうためにもやってみよう」



校内リーダーとの話し合い

- くつをそろえてくつばこに入れる行動は、手続きが簡単で毎日繰り返し行うことです。指導や記録が簡単にできるので、目標達成が見込みやすいですね。
- 結果が行動にフィードバックされやすいので、1年生の目標にぴったりですね。



【指導目標】

「くつばこのくつをそろえる」
ことができる

- 取組の中で、児童の行動を褒めたり認めたりすることで教員と児童の信頼関係を太くするためにもいい目標ですね。

指導前：ベースラインを記録する

- 5日間、支援員が朝の活動をしている際に、くつばこのくつがそろっているかどうかを見童名簿に記録した。



評価の基準をそろえるために、職員室の掲示板に貼りだして教員の基準を統一した。

教示

「具体的目標の実施計画表」を学年団と校内リーダーで検討，作成した。

ポイント！
児童にわかりやすく



見てわかるように

合い言葉

「ぬいだらそろえる」

具体的目標の実施計画表

行動指導計画表

ステップ1: 教える行動を決める

くつやスリッパをそろえる

ステップ2: 児童に伝える「この行動を学ぶ理由」を考える

- ・ 落ちついて行動できるようになるため。
- ・ みんなが気持ちよく生活するため。
- ・ 友達のことを思いやれるようになるため。

ステップ3: 行動の具体例

良い例

悪い例

- ① 揃っている写真 (くつはソールスリッパ、ソールはぬいぐるみ)
- ②

- ① 揃っていない写真とその写真
- ②

ステップ4: 実際に練習するための具体的な計画を立てる

- 各教室で指導する (良い例、悪い例) ... 全体をくわした時の
- 実際にやってみる

ステップ5: 期待される行動の手がかりを作成する

- モデルとなる写真を貼っておく。
- 印となるシールを貼っておく。

具体的目標の実施計画表

ステップ6: 児童に自ら取り揃んでもらうことについて計画する

あい言葉を使う。「脱いだり揃える。」と言いたがる、くつやスリッパを揃える。

ステップ7: 児童の行動内容を記録する方法を計画する

いつ: (事前) 6/5 ~ 6/9 トイレ... 集団
 頻度: 週3回程度 朝
 方法: 写真
 くつ箱... 朝の会 指導) 6/2 ~ 6/3 (事後) 6/14 ~ 6/16
 5/5 (1) ~ 5/5 (2) ニール (トイレ)
 6/27 (X) 各学年へ指導のメモを送る (生活の時間)

朝会で全校への記録の取組 → 1学期末に確認 (できのよい見に行く。)

ステップ8: 望ましい行動に対する「ほめ方」を計画しよう

望ましい行動がおこった時にシールを貼る

- トイレ... 集団で 集団全体の行動に対して、集団全体を賞賛する。
- くつ箱... 個人で 1人1人の行動に対して、個別に賞賛する。

学年ワイドでの指導

朝の会・帰りの会で児童に教示
(くつをそろえる行動の意味を教える)



視覚的な手がかりの活用
＋
合い言葉
「ぬいだら、そろえる」

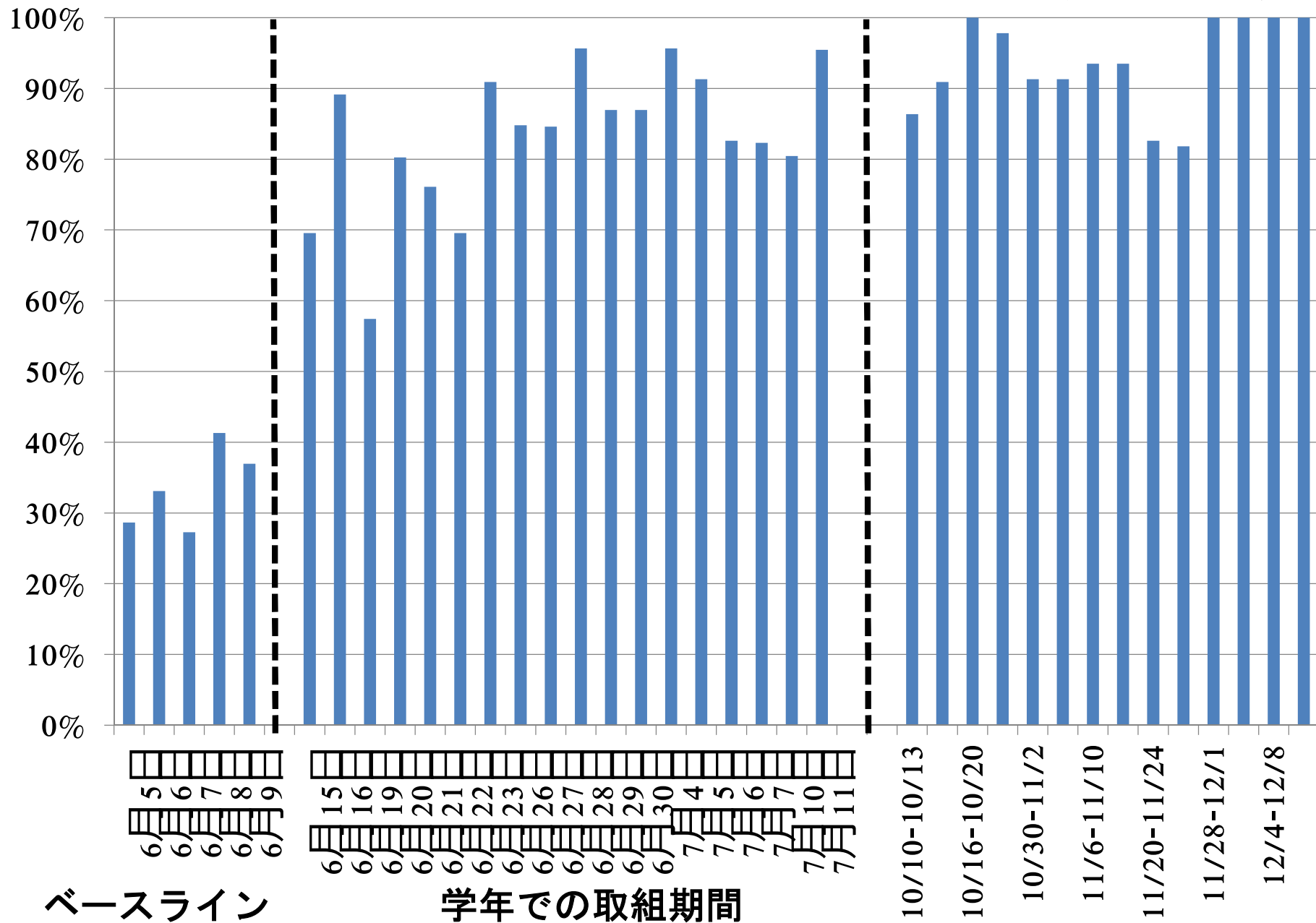
楽しく
取り組めるように！

平成29年6月（取組初期）撮影

指導の結果

$$\frac{\text{くつをそろえた児童数}}{\text{1年生の児童数}} \times 100$$

全校での取組期間



指導の成果



ほぼ全員の児童が
くつばこにくつをそろえて
入れることができるよ
うになった。

担任はこの機会を捉え、
折に触れて児童を称賛し
た。

平成29年7月撮影

全校展開へ(かもっこスマイルプロジェクトの1つとして)



他学年への呼びかけ

ほかの学年に対してくつをそろえることを学年全員で呼びかけた。

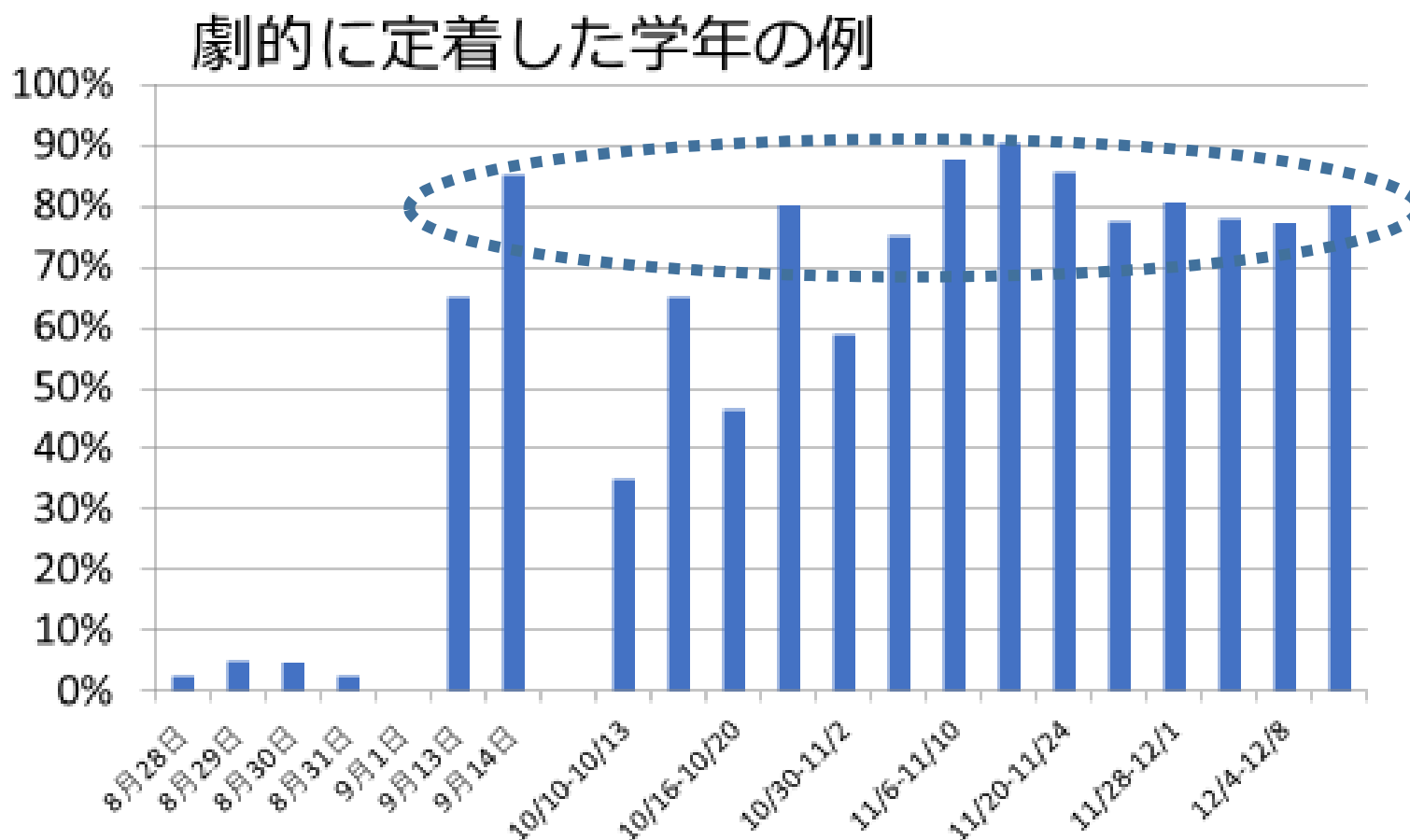


全校集会

全校集会が終わってから少し時間をもらって、「くつやトイレのスリッパをそろえましょう」と呼びかけた。

指導の成果

ある学年では，全校集会の後に一気に行動が定着した。



般化の様子

12月に行われた校内マラソン大会では、特に何も指導しなくても児童たちが自然とくつをそろえていた。



平成29年12月撮影



平成30年1月撮影

ここが成功のポイント



- 発達段階を考慮し、比較的誰でもできる行動を標的としたこと。
- 学年ワイドで取り組んだことで児童たち同士で声をかけあったり、となりの児童のくつばこをモデルにしたりして、児童同士が強化し合う仕掛けが作れたこと。
- 丁寧な記録と担任による即時のフィードバック。